



## 平成22年大学入試実績

今年の附属高校の大学入試実績で特筆されることは、国公立大学医学科への合格者数が過去最高だった昨年の36名をさらに上回り44名になったことです。これは全国14位(昨年25位)で、卒業生に占める医学科合格者の割合を示すランキングでは、21.6%で全国11位(昨年16位)になりました。私立大学医学科でも、慶應義塾大2名、自治医科大2名など計12名が合格し、“薬大附属は医学科に強い”という評価通りの結果を今年も残しています。全体でも、東京大3名をはじめ全旧帝大へ計20名、国公立大総計128名、私立大学総計139名(早稲田大23、慶應義塾大11名、昭和薬科大7名など)の合格者をだし、沖縄のリーディングスクールに相応しい実績をあげています。

## 特別活動

夏の甲子園沖縄県予選では、野球部が1勝をあげて“9年ぶりの勝利”として話題になりました。全国高校総合文化祭では将棋部が男女団体とも沖縄県代表で出場し、女子団体が見事準優勝に輝く快挙を成し遂げました。

また、高校総体が“美ら島総体”として沖縄県で開催され、附属高校からも沖縄県代表としてヨット(FJ級19位)と剣道個人(3回戦敗退)に出場しました。中学生では、ディベート部が九州予選を3位で通過し、全国大会に出場しました(ベスト16)。



## 附属高校同窓会からのお知らせ

昨年9月に開催された“大同窓会”で『同窓会報一絆』を配布しましたが、参加できなかった会員は、附属高校事務室でもらうことができます。  
TEL 098-870-1852

## 柴田奨学基金について (大学学部生・大学院生対象)

昭和薬科大学では、経済的に困難な学生への支援を行っているほか、「特待生」制度を設けています。

### 柴田奨学基金第一種

本学独自の奨学金制度として、成績優秀で経済的に困難な学生を選考し下記を無利子で貸与します。

#### 柴田奨学基金第一種の貸与額

学部生 年額 35 万円(2010 年度実績)  
大学院生 年額 57 万円(2010 年度実績)

### 柴田奨学基金第二種

高学年次生(5・6年生)で、家計の急変により就学継続が困難となった学生に対し、願い出により貸与します。

#### 柴田奨学基金第二種の貸与額

1 回当たり 50 万円以内、但し全額学納金に充当します。  
詳細については学生課までお問い合わせください。

### 柴田奨学基金第三種

4・5・6年生の経済困窮者で、品行方正かつ成績上位者の学生に対し、願い出により貸与します。

#### 柴田奨学基金第三種の貸与額

半期分の学納金額を上限として、全額学納金に充当します。  
詳細については学生課までお問い合わせください。

### 特待生制度

毎年、学生生活や学習態度の優れた学生(各学年2名)を「特待生」として表彰し、授業料の半額を免除しています。

昭和薬科大学 学生課 TEL042-721-1516(平日9:00~17:00)